

平和通りテーブル実施報告書

実施 2025 年 5 月 4 日

報告 2025 年 5 月 7 日

一般財団法人武蔵野市開発公社

1 平和通りテーブルの実施概要

(1) 都市再生推進法人としての役割と目的

都市再生推進法人として、「東京都道 115 号（平和通り）における新たな公共空間の在り方の模索」と「吉祥寺平和通り商店会協同組合（以下、「平和通り商店会」という）・武蔵野市開発公社（以下、「開発公社」という）の連携関係によるエリアのにぎわい創出」を目的に、吉祥寺グランドデザイン 2020 にも描かれた「まちなかにおける滞留空間」や NEXT 吉祥寺 2021 で示されている「まちなかの快適な居場所づくり」を創出する実験として位置づけ、平和通り商店会の主催で実施した。2024 年 5 月、2024 年 10 月に平和通り商店会の主催で実施し、今回は第 3 回目の実施となる。

なお、今回は、吉祥寺音楽祭 40 周年の周年事業として位置付け、吉祥寺音楽祭実行委員会が主催する形式となった。実施内容は前回内容に加え、開発公社は、企画面で後述の外部企業と連携し、スキマの活用及び外部リソース導入の取り組みをサポートした。

また、今回も同期間の中で平和通りでも同時に元町通りテーブルを実施するタイミングがあり、吉祥寺の街に広がりを見せている。

(2) 実施主体

主催：吉祥寺音楽祭実行委員会 協力：平和通り商店会、武蔵野市開発公社

出店：麒麟ビール株式会社

(3) 開催日時と天気

2025 年 5 月 4 日（日） 13 時 20 分～16 時 50 分 晴 27℃/15℃

(4) 開催場所

東京都道 115 号（平和通り）の一部 ※吉祥寺本町 1 丁目 3 番地付近



(5) 実施内容

- ① 道路の一部にテーブルセットを 10 セット、イーゼルを 1 台設置した。
- ② テーブルセットは誰もが自由に利用できるものとした。

- ③ 車両通行止めの時間（13 時～17 時）以降にバスがいなくなってからテーブルセットの設置を開始し、一部残っていた運送業者等の車両が完全にいなくなってから正式な開始とした。
- ④ 撤収に関しては、16 時 45 分になり、終了のアナウンス放送を入れたのち、資材回収車を平和通り出口付近（中道通り交差点手前）に停車させ、資材を運搬し、即日返却した。

(6) 外部企業との連携

- ① テーブル事業と連動する形で、麒麟ビールがクラフトビール等を販売し、場所の利用料及び設備使用料を商店会に支払う形で、賑わいの創出と商店会の稼ぐ手段を試験的に導入した。
- ② 麒麟ビールの出店は、あえて車道で行うのではなく、大型連休期間中に休業している路面店の軒先を活用することで、商店街の時間的スキマと空間的スキマを活用し、路面店の賑わいの連続性を確保することを狙い連携した。また、出店場所となる建物に同業他社がいなくても商店会及び建物オーナーからの許可を得やすい状況であった。

※都市再生推進法人として、平和通りテーブルに新たに追加した事業価値(赤字部分)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
道路活用	○	○	○	○		●	●	●	●	●										
収益化																				
空間多用途化																				
まちづかわせ																				
one-place, multi-use																				

価値【社外視点】

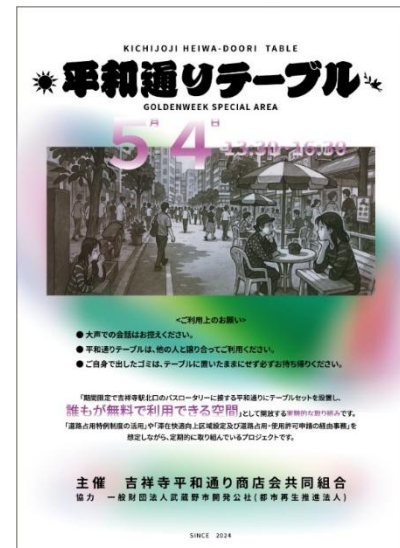
- ① 賑わい創出を考えるための切欠の提供
- ② 賑わい創出のためのサポート
- ③ 直接的な賑わい創出企画・実行
- ④ 行政・まち場との連携
- ⑤ 社会課題解決のための支援
- ⑥ これからのまちづくりに資する切り口の提言

価値【社内視点】

- ① まち場との接点づくり
- ② 有益な協業先の開拓
- ③ 事業/企業認知の向上
- ④ 職員の能力向上
- ⑤ 投下資金(イニシャル/ランニング)
- ⑥ 投下工数(イニシャル/ランニング)
- ⑦ 行政計画(実行計画)の施策完了
- ⑧ 他事業との連携/補助

2 実施風景の写真





3 簡易調査内容

(1) 歩行者交通量

平和通りの歩行者交通状況を動画で記録を取り、後日歩行者数をカウントして 1.0m 1 分当たりの交通量を算出した。算出にあたっては、車道の歩行可能幅員 6.5m（道路の幅員 9.0m のうち、テーブルセットを設置した 2.5mを除いたもの）としているほか、参考までにテーブルセットは設置していないが歩道 2.0m*2（南側及び北側）として両方を算出している。

(2) 結果

① 1分あたりの通行人数

計測時刻	車道	南側歩道	北側歩道	計
13 時 30 分	52 人	42 人	31 人	94 人
14 時 31 分	73 人	32 人	28 人	105 人
15 時 32 分	53 人	34 人	27 人	87 人
16 時 30 分	61 人	38 人	30 人	99 人

② 幅員あたりの人数（車道 6.5m、南側歩道 2m、北側歩道 2m）

計測時刻	車道 (6.5m)	南側歩道 (2.0m)	北側歩道 (2.0m)	計 (10.5m)
13 時 30 分	8.0 人/m・分	21.0 人/m・分	15.5 人/m・分	11.9 人/m・分
14 時 31 分	11.2 人/m・分	16.0 人/m・分	14.0 人/m・分	12.7 人/m・分
15 時 32 分	8.2 人/m・分	17.0 人/m・分	13.5 人/m・分	10.9 人/m・分
16 時 30 分	9.4 人/m・分	19.0 人/m・分	15.0 人/m・分	12.3 人/m・分

(3) 考察

国土交通省公表の大規模開発交通マニュアル改訂版に、自由歩行が可能と判断できる目安の基準として示されている「～27 人/m・分」を、調査結果でも下回っており、実際に事故や苦情等もなかったことから「平和通りテーブルの実施に伴い歩行空間として狭まった平和通りは、歩行者の交通量に対して十分な幅員を確保できていた」と評価できる。ただし、車両の通行が

ない車道ではなく、歩道を歩く人々がまだ多くいることは、路面店等を見ながら歩く人が多いと考えられ、これは平和通りに魅力ある店舗が多くあることを示していると考えられる。

また、前回までと比較して車道を通行する歩行者の割合が高まっていることから、吉祥寺音楽祭の認知度が上がり、来街者が増えた結果、それに伴い通行者が増加したと考えられる。今後もイベント実施の際に同様に計測することや平常時の歩道の通行量を計測することで比較の参考になると思われる。

4 運営上の考察

(1) テーブル配置

運送業者の荷捌車両がない状態で通行止めがスタートできたことから、当初予定のレイアウトで問題なく配置できた。テーブルとイスの設置途中から利用される方もおり、スムーズな設置と撤収の必要性を改めて感じた。

(2) 備品の保管について

前回時同様、レンガ館の空きテナントのスペースをお借りできたため、搬入搬出をスムーズに行うことができた。ただし、今後は別のスペースに保管することになることが想定されるため、よりスムーズに搬入搬出ができるスペースややり方を模索していく必要がある。

また、キンビールの出店に関する備品は、商店会事務所に事前に置ける規模と数量であったため、問題にはならなかった。

(3) 天候との関連について

今回は天候に恵まれ、過去と比較すると雨風や夜の気温など外のイベントを実施するのにはちょうど良い気候だった。その影響かどの開催日でも終了時刻間際まで複数組がテーブルを利用する場面が見受けられた。また、老若男女問わず利用しているなかでも、日中は特に飲食を取らない高齢の方や子ども連れの利用が目につき、買い物等の合間にちょっとした休憩をするスペースが吉祥寺にはあまり多くないことが改めて認識できた。

5 その他

平和通りを通行止めにして路線バスを迂回させる既存の吉祥寺のイベントは、吉祥寺音楽祭・交通安全のつどい・吉祥寺秋まつり・消防イベントの年4回である。音楽祭と連携した形での開催は出来たが、今後は、他のイベントとの連携も検討していく。

以上